

# P3-5

## 全国がん登録におけるPDF形式届出医療機関に向けたフィードバックの取り組み



花原 聡, 久馬 麻希, 森島 敏隆, 石田 理恵, 原 加奈子,  
加藤 美寿季, 素原 佳宏, 中田 佳世, 宮代 勲

### 背景

- 昨年の活動報告( JACR Monograph No.28 第2部：第31回学術集会記録集 p.54 )より、大阪府がん登録では、PDF形式届出(以下、PDF届出)の医療機関による登録誤りが、項目間不整合(以下、エラー)の大半を占めていた。
- PDF届出の医療機関の特徴として、登録件数が少ない施設が多く、届出担当者の変更も頻回に生じている。
- 医療機関が届出に使用する“がん登録オンラインシステム”は、PDF届出では登録内容のチェックがなされない。



### 目的

PDF届出の医療機関の

#### エラー数を減少させる取り組みを行う

- 届出医療機関との情報共有
- 都道府県がん登録室のエラー対応の負荷軽減

### 方法

対象：大阪府がん登録室に届出されたPDF形式のデータ(2021年診断症例)

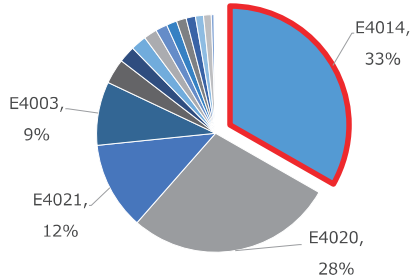
- 届出医療機関別エラーを算出し、担当者に向けたフィードバック資料を送付する

### ①.PDF届出の医療機関に生じたエラー集計

PDF形式届出医療機関：183施設 4,490件のデータから、最も多くエラーが発生したE4014を含む18種類のエラーが算出され、165施設 3,834件のエラーが発生した。(表1)

コード	件数	コード	件数
E4014	1,275	E4004	55
E4020	1,082	E4025	50
E4021	457	E4005	49
E4003	331	E4002	41
E4006	131	E4013	41
E4009	88	E4018	14
E4015	81	E4028	5
E4010	70	E4019	2
E4012	61	E4024	1

表1. 2021年診断症例のPDF届出に生じたエラー件数



### (例) E4014のエラー内容

#### 【⑩治療施設】

1. 自施設で初回治療をせず、他施設で紹介またはその後の経過不明 or
4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診

- 1. …… 初回治療を開始していない症例
- 4. …… 初回治療が終了後の症例

#### 【⑪進展度・術後病理学的】

400.上皮内 or 410.限局 or 420…

手術や病理診断で得られた結果を反映させる項目

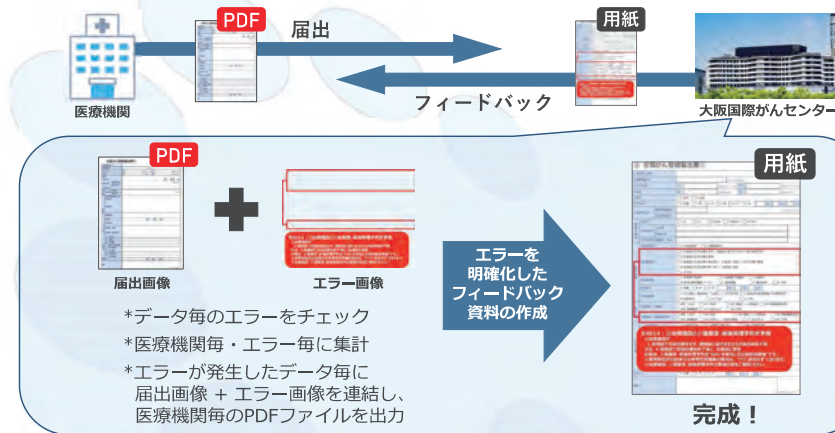
#### 項目間不整合!

大阪府では、治療施設を優先して  
→ 660.手術なし・術前治療後 に修正

### 結果

### ②.フィードバック資料の送付

医療機関毎に各エラーから1票を選び、実際の届出票にエラー内容の説明を示した資料をレターバックにて届出担当者宛に送付した。エラーの説明には、国立がん研究センターが提供しているエラーコード集の説明文を引用し、大阪府で説明文を追記した。



### 結論

- 都道府県がん登録室からの働きかけがなければ、PDF届出の医療機関は届出したデータ内にエラーが生じていることを知る術がないのが現状。
- 医療機関毎に発生するエラー内容も異なることから、届出実態に即した内容の支援を行うことで、効率的に実務者への働きかけが行えると共に、登録実務の理解を深めてもらえる機会になると考える。